

景気動向指数

さまざまな景気に関係のある指標を集めたもの。

内閣府 経済財政政策ホームページ 経済社会総合研究所 (統計・SNA) 景気動向指数

景気動向指数を見るポイント

過去の景気循環を決定する景気基準日付を決める際の重要な指標

先行系列 (景気に先行) 一致系列 (景気と同時) 遅行系列 (景気に遅れる) の3種類がある。重要なのは一致系列。先行きを判断するために先行系列も参考にする。

DI (ディフュージョン・インデックス) は景気の方角を示す。

CI (コンポジット・インデックス) は景気の量感を示す。

景気動向指数の作成法

景気動向指数構成項目 過去の動きから、系列が選ばれる。

景気動向指数のメニューから

個別系列の数値: (先行系列 一致系列 遅行系列 = Excel形式)

< CI > の計算法

- ・各構成指数の前期比を計算する。(正確には対称変化率)
- ・前期比を平均する。(正確には基準化後平均)
- ・基準時点から平均の前期比を使って指数を作成する。

< DI > の計算法

最新の数字を3ヵ月前と比べる。(C4 稼働率指数、C9 営業利益に注意、C10-1、C10-2などは除く。計算する場合は、削除する必要あり)

3ヵ月前より改善 = 1

3ヵ月前と同じ = 0.5

3ヵ月前より悪化 = 0

DI = 改善した指標数 / 採用指標数 × 100 (%)

(参考) 数式で表せば以下の操作でできる。

IF 関数 条件によって違う処理をする

IF (論理式、論理式が真の場合の処理、論理式が偽の場合の処理)

=IF(当期のデータ>3 ヶ月前のデータ,1,IF(当期のデータ=3 ヶ月前のデータ,0.5,0))

当期のデータが 3 ヶ月前のデータより大きければ 1 を、等しければ 0.5 を、そのほかの場合はゼロを入れる、という関数。

グラフの作成

(課題)

景気動向指数のうち一致系列の DI と CI をグラフ化する。

(データ入手先)

内閣府 経済財政政策ホームページ 経済社会総合研究所 [統計](#) 景気動向指数
「集計結果」統計表一覧

(長期系列 = Excel 形式)を選ぶ。

年のセルと月のセルが分かれているので、一つにする

つまり、1990 と 1 を一つにして、1990/1 とする。

月の列の隣に一行挿入する。

年の列と月の列を一つにする。 = セル & "/" & セル (注)

(注) 2 つのセルの値を一つのセルに表すには、& を使う。その間に文字列を挿入するとき
は、前後に " " をつけ、"文字列" とする。

"1990" というセルと "1" というセルを使って、1990/1 とするには、次のような関数を使う。

= (1990 のセル) & "/" & (1 のセル)

一致系列・C Iは右目盛とする C Iをダブルクリック データ系列の書式設定 「軸」
第2軸とする。

一致系列・D Iの目盛りの最大値を 200 にする。こうすることによって、D Iは下半分だ
けに表れるようになる。

